

DENON[®]

DHT-S316

HOME THEATER SYSTEM

取扱説明書



付属品	4
乾電池の入れかた	5
リモコンの使いかた	5
特長	6
各部の名前	7
サウンドバー	7
サブウーハー	10
リモコン	11

接続のしかた

設置する	12
サウンドバーを設置する	12
サブウーハーを設置する	14
テレビを接続する	15
接続 1: HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ	16
接続 2: 光デジタル端子付き/ARC 機能非対応のテレビ	17
接続 3: アナログ端子付き/ARC 機能非対応のテレビ	18
電源コードを接続する	19

再生のしかた

テレビや映画、音楽を楽しむ	20
ステータス表示 LED について	21
Bluetooth 機器の音楽を聴く	22
はじめて Bluetooth 機器とペアリングする	22
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	23
ペアリングされた Bluetooth 機器の音楽を聴く	23

設定のしかた

設定のしかた	24
音量を調節する	24
サブウーハーの音量を調節する	24
リスニングモードを選ぶ	25
一時的に音を消す	25
Bluetooth スタンバイ機能を設定する	25
二重音声放送を切り替える	26
オートスタンバイ機能	26
音量制限機能	26



困ったときは

故障かな?と思ったら	27
電源が入らない / 電源が切れる	28
リモコンで操作ができない	28
音がまったく出ない	29
Bluetooth 再生ができない	30
HDMI コントロール機能が動作しない	30
お買い上げ時の設定に戻す	31
保証と修理について	32

付録

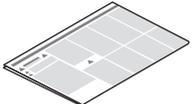
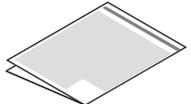
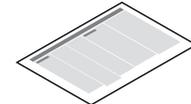
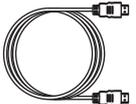
HDMI について	34
登録商標について	35
主な仕様	36
サウンドバー	36
サブウーハー	39



お買い上げいただきありがとうございます。
 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
 お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電池使用上のご注意</p>	 <p>電波に関するご注意</p>	 <p>壁掛け用テンプレート</p>
 <p>電源コード (2本) 【本機専用】</p>	 <p>HDMIケーブル</p>	 <p>光デジタルケーブル</p>	 <p>壁掛け用スペーサー (2個)</p>	 <p>リモコン (RC-1230)</p>
 <p>単4形乾電池</p>				



乾電池の入れかた

1 裏ぶたを矢印の方向へ押し下げて取り外す。



2 乾電池(1本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



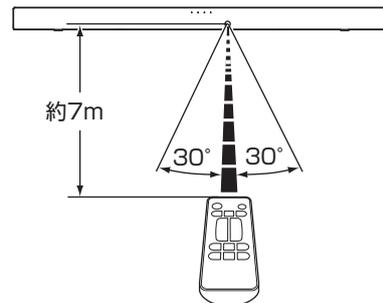
3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

- 迫力のあるサウンドを実現するワイヤレスサブウーハーを備えた、Denon ホームシアターサウンドシステム
かんたんセットアップ: 付属の HDMI ケーブルまたは光デジタルケーブルを使用してテレビを簡単に接続できます。
ワイヤレスサブウーハー: 迫力のある重低音サブウーハーはサウンドバーとワイヤレスで接続できます。
薄型設計: 高さを約 5cm に抑えたサウンドバーは、テレビ画面やリモコン受光部を妨げずに設置できます。
- さまざまな音楽ソース(テレビ、ブルーレイディスク、ゲーム、スマートフォンアプリ)の再生に対応
ARC(Audio Return Channel)機能対応: ご使用のテレビが HDMI ARC 機能対応の場合、付属の HDMI ケーブル 1 本でサウンドバーと接続できます。
光デジタル音声入力端子装備: 付属の光デジタルケーブルで接続できます。
3.5mm アナログ AUX 入力装備: ポータブルプレーヤーなどのヘッドホン端子を接続できます。
Bluetooth: スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスでストリーミング再生できます。
- バーチャルサラウンド技術によってホームシアター環境を実現
Dolby Digital、DTS および AAC に対応
Denon ダイアログエンハンサー機能: テレビ番組や映画のせりふを強調して聴きやすくします。全体の音量を調節することなく、明瞭さを向上させます。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

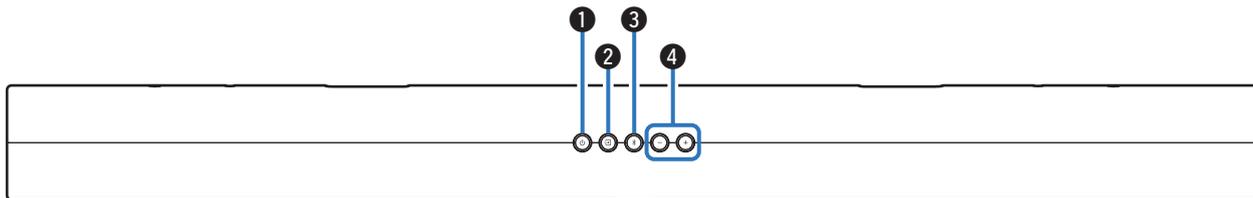
- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。



各部の名前

サウンドバー

■ トップパネル



① 電源ボタン(⏻)

サウンドバーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。(☞20ページ)

サウンドバーの電源に連動し、サブウーハーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。

② 入力ソースボタン(📺)

入力ソースを選択します。(☞20ページ)

ボタンを押すたびに入力ソースが切り替わります。

③ Bluetooth ボタン(📶)

• 入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。(☞22ページ)

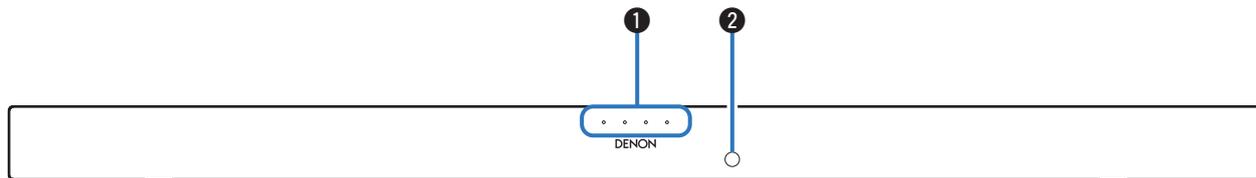
• Bluetooth 機器とペアリングするときに使用します。(☞22ページ)

④ 音量ボタン(+, -)

音量を調節します。(☞24ページ)



■ フロントパネル



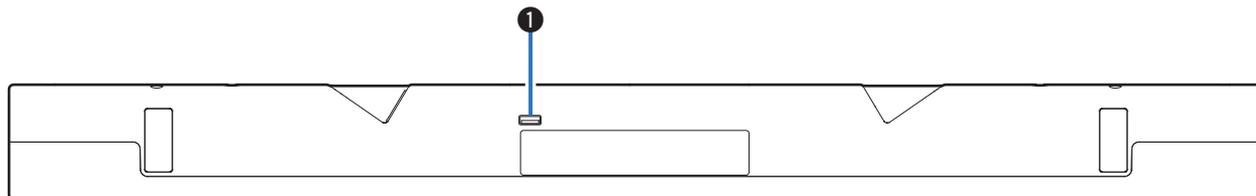
① ステータス表示 LED

入力ソース・入力信号・リスニングモードなどのステータスを表示します。(P.21 ページ)

② リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.5 ページ)

■ ボトムパネル



① USB 端子

サービス用の端子です。通常は使用しません。



■ リアパネル



① 壁掛け用穴

サウンドバーを壁に取り付けるときに使用します。(参照 13 ページ)

② HDMI 端子(TV(ARC))

付属の HDMI ケーブルを使用して、ARC 機能対応のテレビを接続します。(参照 16 ページ)

③ AUX 音声入力端子

市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、オーディオ機器を接続します。(参照 18 ページ)

④ 光デジタル入力端子(TV OPTICAL)

付属の光デジタルケーブルを使用して、光デジタル端子付きのテレビを接続します。(参照 17 ページ)

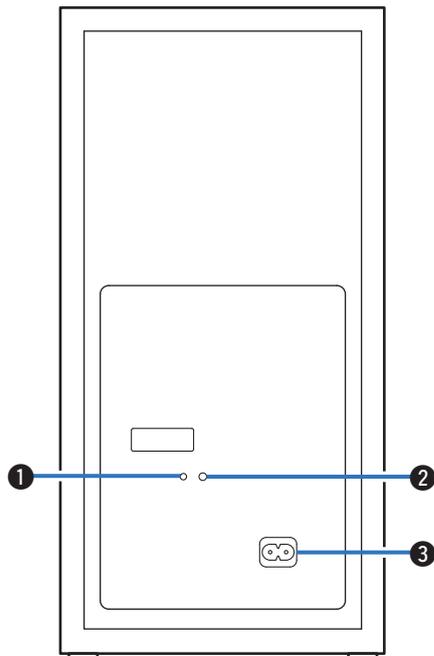
⑤ AC インレット

付属の電源コードを接続します。(参照 19 ページ)



サブウーハー

■ リアパネル



① ステータス表示 LED

サブウーハーのステータスを表示します。

LED 表示	状態
○	サブウーハーの電源オン/オフ(スタンバイ)時
 → 	サウンドバーとサブウーハーのワイヤレス接続時



- お買い上げ時、サウンドバーとサブウーハーはワイヤレス接続されています。サブウーハーから音声が出力されない場合は、サウンドバーとサブウーハーを再度ワイヤレス接続してください。(P.29 ページ)

② サウンドバーシンクロボタン(BAR SYNC)

サウンドバーとサブウーハーをワイヤレス接続するときに使用します。(P.29 ページ)

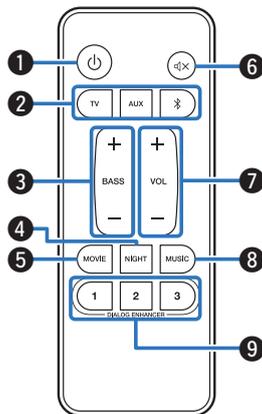
③ AC インレット

付属の電源コードを接続します。(P.19 ページ)



リモコン

本書ではリモコンの操作を中心に説明しています。



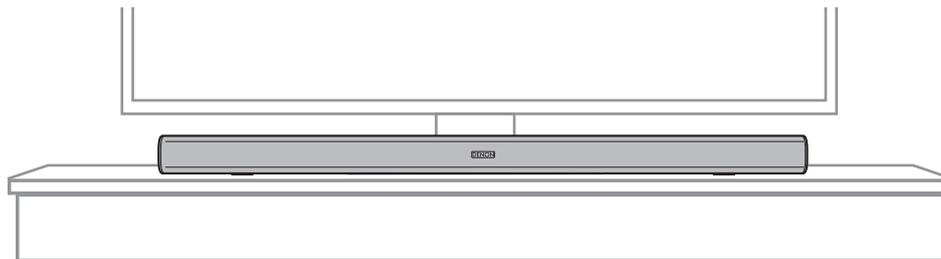
- ① 電源ボタン(⏻)**
 サウンドバーの電源がオン/オフします。(☞20 ページ)
 サウンドバーの電源に連動し、サブウーハーの電源がオン/オフします。
- ② 入力ソースボタン(TV, AUX, ※)**
 入力ソースを選択します。(☞20 ページ)
- ③ サブウーハーレベル調節ボタン(BASS +, -)**
 サブウーハーの音量を調節します。(☞24 ページ)
- ④ ナイトモードボタン(NIGHT)**
 小音量時にダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくします。(☞25 ページ)
- ⑤ ムービーモードボタン(MOVIE)**
 映画館のような臨場感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。(☞25 ページ)
- ⑥ ミュートボタン(🔇)**
 消音します。もう一度押すと、消音を解除します。(☞25 ページ)
 二重音声放送の主音声/副音声を切り替えます。(☞26 ページ)
- ⑦ 音量ボタン(VOL +, -)**
 音量を調節します。(☞24 ページ)
- ⑧ ミュージックモードボタン(MUSIC)**
 クリアでピュアな高音質モードです。音楽ソースの再生に適しています。(☞25 ページ)
- ⑨ ダイアログエンハンサーボタン(DIALOG ENHANCER 1~3)**
 映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聴きやすくします。(☞25 ページ)
 3段階で設定できます。お好みで設定してください。



設置する

サウンドバーを設置する

サウンドバーをテレビの前など平らな場所に設置します。



ご注意

- サウンドバーをテレビの前に設置する場合、サウンドバーがテレビのリモコン受光部などを遮らないようにご注意ください。



■ サウンドバーを壁に掛けてご使用になる場合

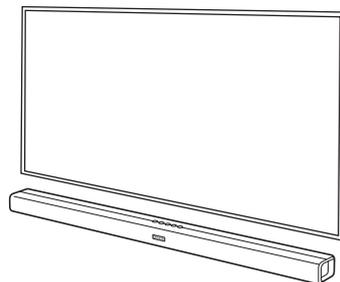
サウンドバーは壁掛け用穴を使用して壁掛けすることができます。壁に掛けてご使用になる場合は、平らで垂直な場所に設置してください。



- 壁に掛けてご使用になる場合は、付属の壁掛け用テンプレートを 사용하여ください。

【壁掛け用テンプレートの使いかた】

- ① サウンドバーを取り付ける位置にテンプレートを貼り付ける。
- ② テンプレートに従って壁掛け用ねじを取り付ける。
壁掛け用ねじは、壁の材質や強度に合ったものを専門施工業者にご相談ください。
- ③ 壁からテンプレートを取り外す。
- ④ 接続コードや電源コードを接続する。
接続コードや電源コードを束ねるため、サウンドバー背面に付属の壁掛け用スペーサーを取り付けてください。
- ⑤ サウンドバーを壁に取り付ける。



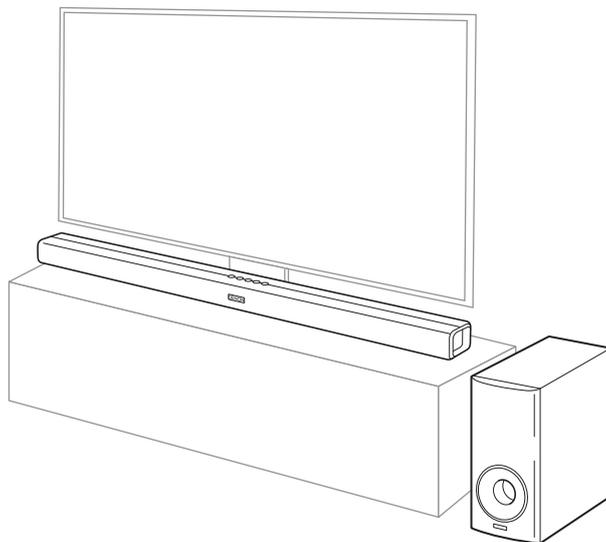
ご注意

- 壁への取り付けは、安全性確保のために専門施工業者へ依頼してください。
- 安全にお使いいただくため、本体の上に物をのせたり物をぶら下げたりしないでください。
- 接続ケーブルを足や手に引っ掛けて本機を落下させることがないように必ず壁などに固定してください。取り付け後は必ず安全性を確認してください。
- また、定期的な落下の可能性がないか安全点検をおこなってください。
- 取り付け場所や取り付け方法の不備による損害・事故において、当社は一切その責任を負いません。



サブウーハーを設置する

サブウーハーをサウンドバー近くの平らな場所に設置します。



テレビを接続する

接続方法は、テレビに装備されている端子や機能により異なります。



- HDMI ケーブルを使用して本機とテレビを接続する場合は、テレビの HDMI コントロール機能を有効にしてください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機をご使用になる場合は、テレビのスピーカー設定をオフにするか音量を最小にしてください。
- HDMI ケーブルを使用して接続することをおすすめしますが、HDMI ケーブルを使用せずに接続することもできます。

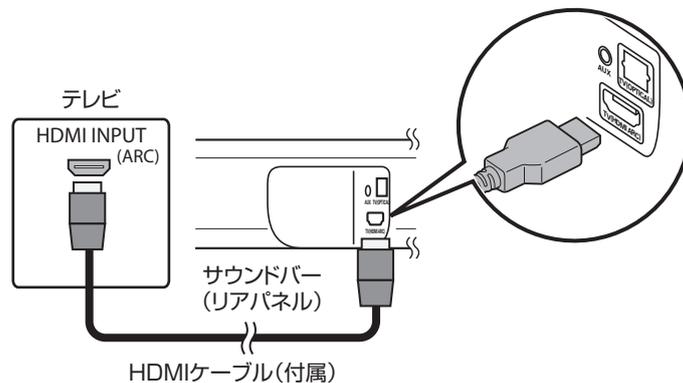
ご注意

- 接続するときは、各機器の電源を切ってください。
- すべての機器の接続が完了するまで、各機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



接続 1 : HDMI 端子付き / ARC 機能対応のテレビ

付属の HDMI ケーブルを使用して、本機と ARC 機能対応のテレビを接続します。

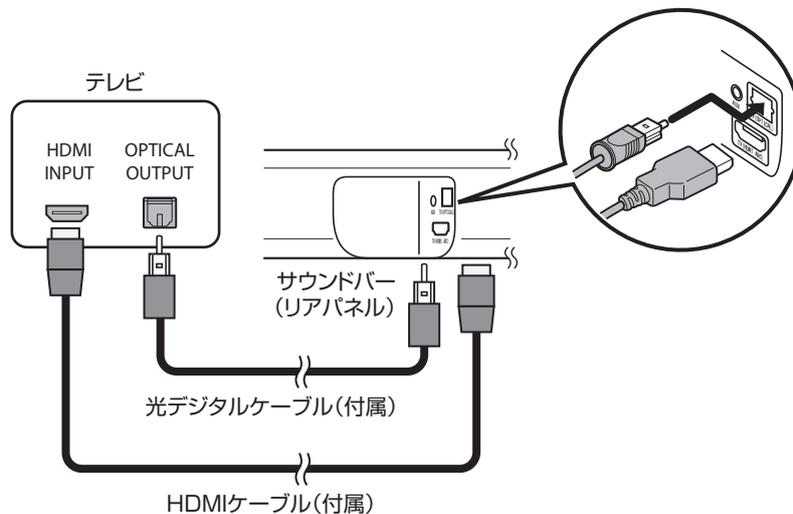


- テレビも ARC 機能に対応している必要があります。



接続2:光デジタル端子付き/ARC機能非対応のテレビ

付属のHDMIケーブルと光デジタルケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。

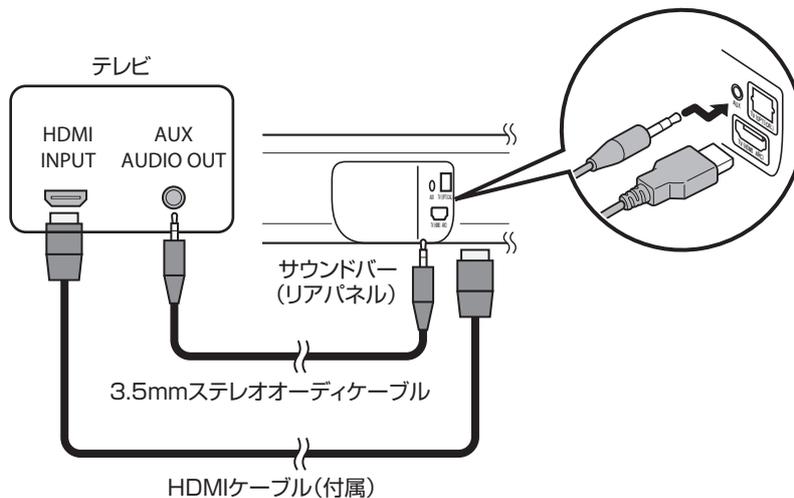


- 光デジタルケーブルは、端子の形状に合わせて差し込んでください。



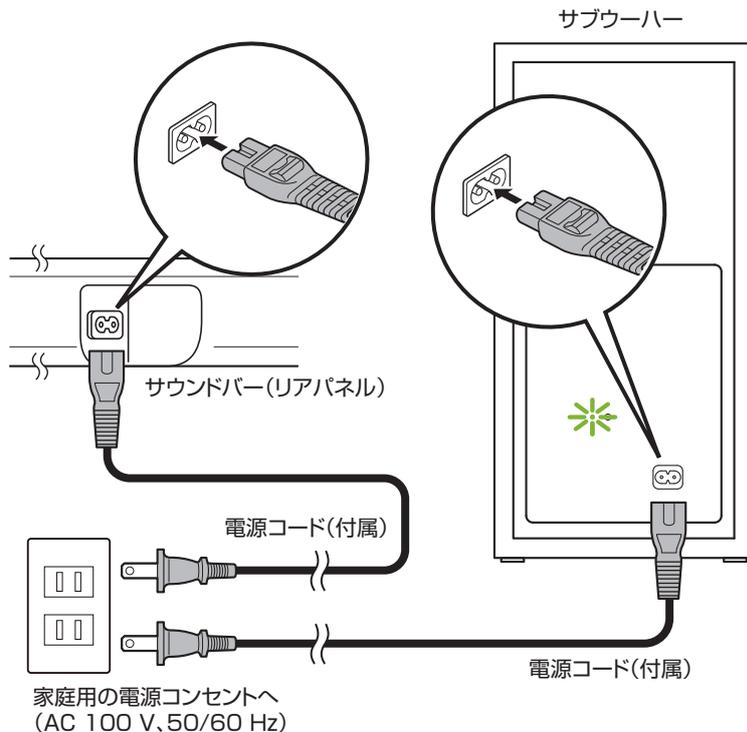
接続 3: アナログ端子付き/ARC 機能非対応のテレビ

付属の HDMI ケーブルと市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。

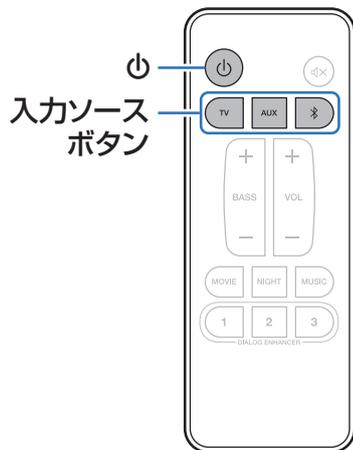


電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



テレビや映画、音楽を楽しむ



- 1 テレビや接続した機器の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 3 入力ソースボタンを押す。
- 4 本機に接続した機器を再生する。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。



- HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールすることができます。(P.34 ページ)



ステータス表示LEDについて

入力ソースや入力信号などによって、ステータス表示 LED が変わります。

LED 表示	状態
○ ○ ○ ○	電源オフ/スタンバイ時
   	電源起動時
○ ○  ○	入力ソース:Bluetooth
 ○ ○ ○	入力ソース:HDMI(ARC)
  ○ ○	入力ソース:OPTICAL
   ○	入力ソース:ANALOG

LED 表示	状態
 ○ ○ ○	入力ソース:HDMI(ARC) 音声信号:PCM
 ○ ○ ○	入力ソース:HDMI(ARC) 音声信号:Dolby
 ○ ○ ○	入力ソース:HDMI(ARC) 音声信号:DTS
 ○ ○ ○	入力ソース:HDMI(ARC) 音声信号:AAC
  ○ ○	入力ソース:OPTICAL 音声信号:PCM
  ○ ○	入力ソース:OPTICAL 音声信号:Dolby
  ○ ○	入力ソース:OPTICAL 音声信号:DTS
  ○ ○	入力ソース:OPTICAL 音声信号:AAC

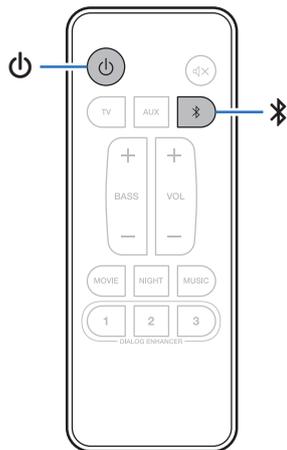


- 入力ソースが“Bluetooth”の場合、音声信号は表示されません。



Bluetooth 機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。



はじめて Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 Bluetooth ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
はじめてご使用になる場合は、ペアリングモードになりません。
- 4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“DHT-S316”を選ぶ。
ステータス表示 LED が青色に点灯し、本機と Bluetooth 機器がペアリングされます。



- 電源コードを抜き差しすると、ペアリングが解除されます。再度ペアリングをおこなってください。



2台目以降のBluetooth機器とペアリングする

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth機器のBluetooth設定を有効にする。
- 4 ステータス表示LEDが青色に点滅するまで、本機の電源ボタンを押す。
- 5 Bluetooth機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“DHT-S316”を選ぶ。
ステータス表示LEDが青色に点灯し、本機とBluetooth機器がペアリングされます。



- 本機は最大8台のBluetooth機器とペアリングできます。9台目のBluetooth機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- 電源コードを抜き差しすると、ペアリングが解除されます。再度ペアリングをおこなってください。

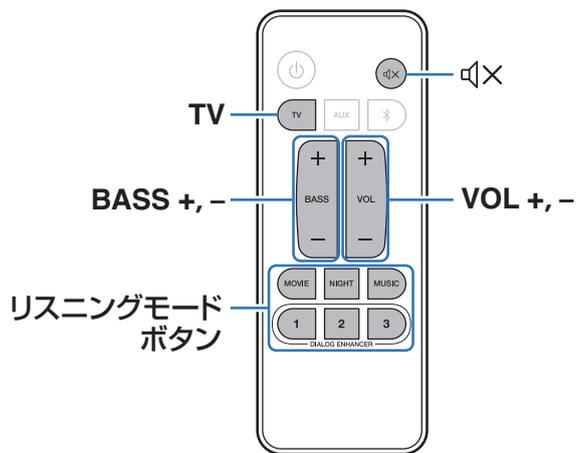
ペアリングされたBluetooth機器の音楽を聴く

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth機器のBluetooth設定を有効にする。
- 4 電源ボタンを押す。
ステータス表示LEDが青色に点灯し、前回接続していたBluetooth機器に接続します。接続が途切れた場合は、再度接続してください。
- 5 Bluetooth機器のアプリを使用して音楽を再生する。



設定のしかた

以降の操作および設定は、必要に応じておこなってください。



音量を調節する

- 1 VOL +またはVOL -を押して、音量を調節する。
ボタンを押すたびに、選択されている入力ソース LED が 1 回点滅します。

サブウーハーの音量を調節する

- 1 BASS +またはBASS -を押して、サブウーハーの音量を調節する。
ボタンを押すたびに、選択されている入力ソース LED が 1 回点滅します。



リスニングモードを選ぶ

1 リスニングモードボタンを押して、リスニングモードを選ぶ。

ステータス表示 LED が紫色に 1 回点滅します。

MOVIE (お買い上げ時の設定):	映画館のような臨場感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。
NIGHT:	小音量時にダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくします。
MUSIC:	クリアでピュアな高音質モードです。音楽ソースの再生に適しています。
DIALOG ENHANCER 1~3:	映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聞きやすくします。3 段階で設定できます。お好みで設定してください。

一時的に音を消す

1 ㊦を押す。

選択されている入力ソース LED が点滅します。



- 解除するときには、もう一度 ㊦を押してください。

Bluetooth スタンバイ機能を設定する

Bluetooth スタンバイ機能を“オン”に設定すると、ペアリングされた Bluetooth 機器から Bluetooth 接続したときに、本機の電源が自動的にオンになります。この操作をおこなう場合、あらかじめペアリングを完了させてください。

1 次のようにステータス表示 LED が点滅するまで、TV を 5 秒以上押し続ける。

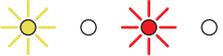
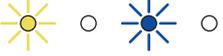
LED 表示	状態
 ○  ○	Bluetooth スタンバイ機能: オン
 ○  ○	Bluetooth スタンバイ機能: オフ (お買い上げ時の設定)



二重音声放送を切り替える

二重音声放送の主音声/副音声を切り替えます。

1 音量を5秒以上押し続ける。

LED 表示	状態
	入力ソース:HDMI(ARC) 音声の種類:主音声(お買い上げ時の設定)
	入力ソース:HDMI(ARC) 音声の種類:副音声
	入力ソース:HDMI(ARC) 音声の種類:主音声+副音声
	入力ソース:OPT 音声の種類:主音声(お買い上げ時の設定)
	入力ソース:OPT 音声の種類:副音声
	入力ソース:OPT 音声の種類:主音声+副音声

オートスタンバイ機能

約 15 分以上操作がなく音声出力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

音量制限機能

本機には過大出力を制限する「音量制限機能」が搭載されています。電源オフ時に 18 を超えた音量になっていた場合は、次回電源オン時には音量が 18 に設定されます。



故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 他の機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もしお買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.19 ページ)
- テレビの HDMI コントロール機能で本機の電源が入らないときは、**⏻** ボタンを押して本機の電源を入れてください。または、Bluetooth スタンバイ機能を“オン”に設定してください。(P.25 ページ)

電源が自動的に切れる。

- 約 15 分以上操作がなく音声出力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートスタンバイ機能)

リモコンで操作ができない

リモコンで操作できない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.5 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.5 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の **+** と **-** を正しくセットしてください。(P.5 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。



音がまったく出ない

音がまったく出ない

- すべての機器の接続を確認してください。(P.12 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.20 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(P.24 ページ)
- 消音している場合は、消音を解除してください。(P.25 ページ)

サブウーハーから音が出ない。

- サウンドバーとサブウーハーの間に障害物がある場合は、それを取り除いた後、サブウーハーをサウンドバーの近くに設置してください。
- サブウーハーのステータス表示 LED が緑色に点灯しているか確認してください。消灯している場合はサウンドバーとサブウーハーがワイヤレス接続されていない可能性があります。次の手順に従って再接続してください。

①  を押して、本機の電源を入れる。

② サブウーハーの BAR SYNC ボタンを 3 秒以上押し続ける。

サブウーハーのステータス表示 LED が緑色に点滅します。

③ サブウーハーのステータス表示 LED が点灯するまで、サウンドバーの  と + ボタンを 5 秒以上押し続ける。

サウンドバーとサブウーハーがワイヤレス接続します。接続できない場合は、手順 ①～③ をくり返しおこなってください。



Bluetooth再生ができない

Bluetooth 機器とペアリングできない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 設定が有効になっていない可能性があります。Bluetooth 機器の取扱説明書を参照し、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機が他の Bluetooth 機器とペアリングしている可能性があります。Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧から本機を選択してください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してからお試しください。
- 同時に接続できる Bluetooth 機器は 1 台です。

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth 機器と再度ペアリングしてください。[\(P.22 ページ\)](#)

HDMI コントロール機能が動作しない

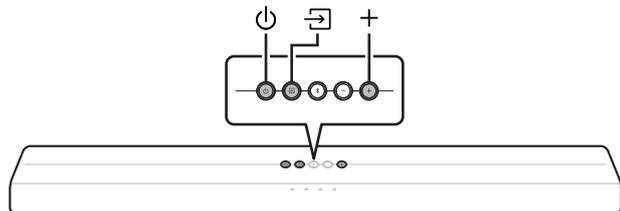
HDMI コントロール機能が動作しない

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているすべての機器の HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。



お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。



- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 本機の電源が入っているときに、サウンドバーの電源ボタン、ミュートボタンと+を5秒以上押し続ける。
すべてのステータス表示LEDが4回点滅します。
- 3 LED消灯後10秒以上経ってから電源ボタンを押す。
サウンドバーが再起動した後、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。



保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。



■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールすることができます。

- **入力ソースの切り替え**

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースが切り替わります。

- **電源オフ連動**

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。(入力ソースが“OPTICAL”または“Bluetooth”の場合は動作しません。)

- **音量調節**

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- **音声出力先の切り替え**

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。

ご注意

- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。あらかじめ各機器の取扱説明書をご覧ください。



登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, Dolby Audio およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS、シンボル、DTS およびシンボルとの組み合わせ、Digital Surround は、米国および/またはその他の国における商標または DTS, Inc.の登録商標です。© DTS, Inc. 著作権所有。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



主な仕様

サウンドバー

■ 総合

動作温度:	5° C~35° C
電源:	AC 100V、50/60Hz
消費電力:	40W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
Bluetooth スタンバイ時の消費電力:	1.6W
サンプリング周波数:	32kHz、44.1kHz、48kHz
音声フォーマット:	リニア PCM、Dolby Digital、DTS Digital Surround、AAC



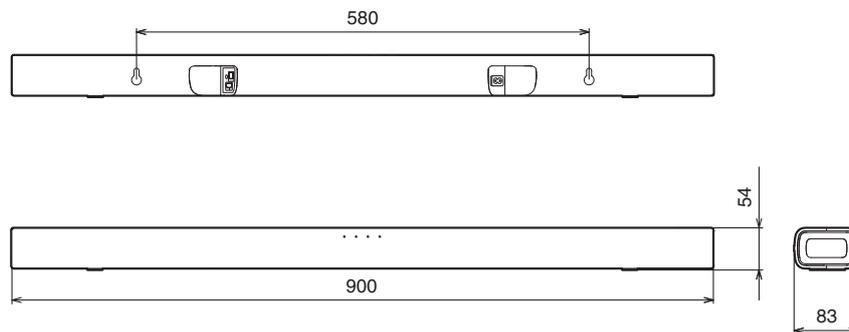
■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 4.2
送信出力	Power Class 2
最大通信範囲:	見通し距離 約 10m *
使用周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.3 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.6
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

* 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。



■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:1.8kg

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



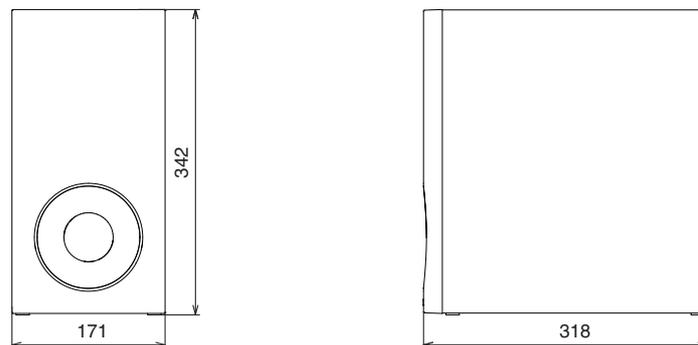
サブウーハー

■ 総合

動作温度:	5 ° C~35 ° C
電源:	AC 100V、50/60Hz
消費電力:	40W
スタンバイ時の消費電力:	0.26W
Bluetooth スタンバイ時の消費電力:	1.1W



■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:5.2kg

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112 または
050 (3388) 6801

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 10:00～18:00
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQ をご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

■ 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。お持ち込みに頂いても受け取ることができませんのでご了承ください。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

3520 10648 00ADA

Copyright © 2018 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.